

## クールジャパン推進会議の主な発言（第1回）

### 【コンテンツについて】

- ・ 経産省と総務省が共同要求している170億の補正予算や500億のリスクマネーについて、日本のコンテンツを海外発信の基盤になるよう有効に使えるようにすべき。日本はプレゼンスが弱まっている中でコンテンツハブになる必要。
- ・ 韓国が行っているコンテンツ施策はよい例。

### 【食について】

- ・ 人を集める仕組みが必要。例えば、ワインに負けないような最高の日本酒を作るといった話題作りが必要ではないか。その方策を考えるきっかけ作りをクールジャパン推進会議が担うべき。
- ・ 日本人の目は長けており、また作り手の姿勢は忠実、研究熱心であって、日本のパンやスイーツは世界一。富裕層だけでなくパン・スイーツなどあらゆる階層に受け入れられる日本の良さに目を向けるべき。
- ・ 日本のお酒は米から作られている。日本人は民族的に米を通じた大きなつながりの輪になれる力がある。
- ・ イタリアンのように日本の食材を海外でも広く普及させていくべきではないか。海外に日本食レストランはあっても日本食材は使われていない。

### 【ファッションについて】

- ・ 日本のファッションの文化をより発信していくためには、政治家などに世界に誇れるブランドを着ていただく。
- ・ 漢字を含めて、かっこいい、かわいいといった日本語の輸出を図り、日本語の良さを海外にアピールできたらよい。感性に訴え、わかりやすいものが重要。
- ・ 沖縄サミットの際、アロハシャツではなくかりゆしウェアとして展開させた。今やその名称は定着している。かりゆしウェアのように日本の種を探す必要がある。

### 【インバウンドについて】

- ・ 地方都市の特徴をいかに海外に対しアピールしていくのか。インバウンドの推進が必要。そのためには、とにかく物語を作ることが重要。
- ・ 外国人旅行者誘致の観点から、国宝、重要文化財の名称について、変更を

含めて議論すべき。

【ポップカルチャーについて】

- ・ 若者など広く受け入れられる日本の良さに目を向けるべきではないか。若者に対する発信力の観点から、ポップカルチャーについて一層議論を深めるべき。

【その他・総論】

- ・ クールジャパンという言葉がわかりにくく、一般の人に伝わりにくい。いい例ではないが、例えば「TAKARA」などキーワードにしてもよい。
- ・ 日本国民が総力戦で参加できる取組が必要。
- ・ 日本文化の良さを失わずに、海外文化を受容しつつ、海外では日本の文化を体現できる人財の育成が重要。
- ・ 海外にもっと日本文化センターなどの拠点を置くべき。

## クールジャパン推進会議の主な発言（第2回）

## 【コンテンツについて】

- ・ クールジャパンというのはローマ字で伝統、かわいい、楽しいなどという形で、日本語が即国際語になるような形で使っていくべき。そして、その先兵として、クールジャパン推進機構の資金を利用するなどしてコンテンツ産業が現地で稼ぐ必要がある。

## 【食について】

- ・ 日本の洋菓子を政府主導でPRするのであれば、日本洋菓子協会連合会などとも共同して、官民連携でやるべき。
- ・ 在外公館での日本酒のPR、とりわけ、民間ではなかなか難しい、国賓レベルの晩餐会などで海外の著名な芸能人、政治家等に対するPRをはじめ、一般の方へのPRを含め、国で主導して行ってほしい。
- ・ MadeInJapanのスイーツフェアを海外でやりたいと考えている。
- ・ スイーツフェアをやる際には、日本のものづくりともコラボし、最初の実施場所は一番やりやすい台湾を考えている。日本で一度リハーサルをやるのもいい。
- ・ 茶の文化に触れたことのない外国人が一度体験する。すぐに忘れてしまうかもしれないが、いつか思い出話に出ることもある。このような小さな文化交流が、国と国との将来何か友好を深める何かの手立てになるのではないか。

## 【ファッションについて】

- ・ ポーランドのファッションウィークへ参加し、ファッションだけではなく、食や伝統工芸や学生の交流や、色々な部分でジャパンファッションフェスティバルをやる予定。これに国策のクールジャパンで参加してもらえると良いと思う。
- ・ 日本食がおいしいと評価されるためには、味だけでなく、見た目、おもてなしなどトータルなファッション性が必要。

## 【インバウンドについて】

- ・ 外国人へのおもてなしのためには、その国の宗教的な背景や商習慣を知ることやバーベキューや金魚すくいをやってもらう参加型の企画による工夫が大切。
- ・ クールジャパンというアウトバウンドのほうがどうしても注目されるが、同様にインバウンドのほうも大切である。その観点から、文化財を観光資源として活用できるように、国宝・重要文化財という名称の変更を含めて検討してもらいたい。

## 【その他・総論】

- ・ 東南アジアなどに日本のクールジャパンを指導する学校、大学をつくったらどうか。
- ・ クールジャパンを推進した現地の人たちに、大使館を通して顕彰する。そういう顕彰制度もあっていいのではないか。
- ・ 安倍総理によるクールジャパン立国宣言、クールジャパン推進基本法によってクールジャパンを国として進めるということをきちんと体制づけていただきたい。
- ・ ヒットのためにはストーリーが必要。例えば日本酒で言うと、単純に利き酒会をやるよりも、日本酒というのは、熱燗・ぬる燗といった、ワインにはない温度の違いを楽しむ飲み方があるということ。
- ・ ストーリー作りのためのコンテンツで海外にPRするのは、日本の優秀なクリエイターたちに日本の仕事なんだと、日本のためにひと肌脱がなにかというのを総理大臣の名前なのか、稲田大臣なのかでぜひ手伝ってくれということをやれば、嫌だと言う人はいない。ノーギャラでも総力を挙げてやってやろうというグループを作るべき。